



木を植えています
私たちはイオンです



「第6回生物多様性みどり賞」 受賞者が決定しました。

本賞は、公益財団法人イオン環境財団と国際連合環境計画 生物多様性条約事務局が生物多様性の保全と持続可能な利用に関して、顕著な功績のある個人を顕彰する国際賞です。

今回は140名の候補者の中から3名が受賞しました。

今後も、生物多様性条約事務局や受賞者の方々との連携を図り、積極的に環境活動を推進していきます。

詳細はこちらよりご覧いただけます。



ポール・エベール氏 (カナダ)

カナダ ゲルフ大学
統合生物学部教授

DNA情報に基づき、あらゆる生命体を適切な生物種に識別する1千万件以上の「DNAバーコード」の開発に取り組み、生物多様性をより身近なものとししました。



DNAバーコード化する標本の選定 (生物多様性ゲノミクスセンター)



メリーナ・サキヤマ氏 (ブラジル)

「生物多様性グローバルユースネットワーク (GYBN)」
共同創設者

自然と共生する未来を創るため、若者とその組織のエンパワメントを目的とした国際的な連合を構築し、様々な問題解決に向け国境を越えた活動を展開しています。



生物多様性グローバルユースネットワーク代表派遣団 (COP12にて)



ウィルシー・エマニュエル・ビニユイ氏 (カメルーン)

環境活動団体
「カメルーン ジェンダー環境ウォッチ」創設者

「地球規模で考え、地域で行動しよう」を体現するため、地域社会を巻き込んで種子や苗の収集、苗床開発、森林パトロールの組織化を図り、森林の保全と再生に取り組んでいます。



ムロイン・ヤン地域における先住民コミュニティの森林教育